

施策評価シート (令和2 年度の振り返り、総括)

作成日 平成28年 06月 23日

施策 No.	4	施策名	道路ネットワークの整備
主管課名	建設課	電話番号	0285-83-8149
関係課名	商工観光課、環境課、都市計画課、都市整備課		

1. 計画 (Plan)

施策の対象	市内の道路						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
市道延長	km	1310.6					
橋りょう数	橋	31					

施策の目標	・幹線道路の整備を促進するとともに道路網の整備を進め、効率的で機能的な道路ネットワークを構築する。
-------	---

成果指標設定の考え方及び指標の把握方法 (算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> ・「市道改良率」は、市道延長に対する改良済み延長の割合を示す。 ・「市道舗装率」は、市道延長に対する舗装済み延長の割合を示す。 ・「橋りょう修繕率」は、橋長15m以上の橋りょう数に対する修繕実施済み橋りょう数の割合を示す。
-----------------------------	---

成果指標名	単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
市道改良率	目標値	72.9	73.3	73.5	73.6	73.8	74.0	74.0
	実績値		73.6					
市道舗装率	目標値	97.1	97.3	97.4	97.4	97.5	97.6	97.6
	実績値		97.7					
橋りょう修繕率	目標値	52.1	82.6	86.9	95.6	100		100
	実績値		73.9					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>住民は、道路ネットワークを利用した地域間交流や経済活動を行う。</p> <p>行政は、道路ネットワークを考慮し、積極的な道路整備の推進に努める。また、道路や橋りょうの計画的な維持修繕に努める。</p>
-------------------------	---

2. 実行 (Do) →個別事務事業の実施による (事務事業マネジメントシート参照)

3. 検証・評価と今後の方向性 (Check&Action)

(1) 施策目標達成に対する要因分析と課題 (①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証)

(1)市道の整備推進 (平成27年度実績)

- ・市道113号線 (都市計画道路長田中線の延伸) については、道路詳細設計、地質調査を実施した。
- ・市道289号線 (大和田産業団地へのアクセス道路) については、道路詳細設計を実施した。
- ・生活道路整備として、市道20路線の測量、設計、物件補償、用地取得、道路改良工事等を実施した。
- ・市内一円6地区14路線の舗装工事を実施した。
- ・橋梁長寿命化計画に基づき、両国橋、田島大橋、中郷橋、稲荷橋 (上部工) の修繕を実施した。
- ・橋長2m以上の橋梁495橋のうち、124橋の点検を実施した。
- ・1級、2級及びその他の市道 (L=511.3km) の路面性状調査を実施し、舗装長寿命化修繕計画を策定した。

(2)国道の整備促進 (平成27年度実績)

- ・平成23年に全線開通した北関東自動車道を補完し、地域相互の交流促進や広域交通拠点との連結等に資する地域高規格道路として国道408号鬼怒テクノ通りの整備が進められ、真岡南バイパス (主要地方道真岡上三川線から国道294号までL=3,100m) の用地測量、構造物詳細設計、用地補償が実施された。
- ・国道121号は、京泉工区 (飯貝、京泉、原町L=1,700m) のうち、L=260m区間 (京泉地内) の詳細設計が実施された。
- ・国道294号は、八條工区 (東郷、八條L=1,200m) の詳細設計、用地測量が実施された。

(3)県道の整備促進 (平成27年度実績)

- ・主要地方道栃木二宮線は、長島工区 (古山、程島、長島、久下田L=2,080m) の一部で用地補償が実施された。
- ・一般県道西田井二宮線は、石島工区 (沖、石島L=1,850m) の一部で用地補償が実施された。また、物井工区 (物井、高田、桑ノ川、鹿L=3,400m) の一部で舗装工が実施された。
- ・一般県道石末真岡線は、堀内工区 (飯貝、上大田和、堀内L=1,300m) と、西郷工区 (下大田和、西郷、中郷L=1,900m) の一部で物件調査、用地補償が実施された。
- ・一般県道西小埜真岡線は、小林工区 (島、小林、根本L=1,500m) の一部で用地補償が実施された。

(2) 今後の方向性 ((1) の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す)

(1)市道の整備・修繕推進

- ・市道113号線 (都市計画道路長田中線の延伸) の建設推進。
- ・市道289号線 (大和田産業団地へのアクセス道路) の建設推進。
- ・生活道路の整備推進。
- ・市内一円の舗装工事の整備推進。
- ・長寿命化計画に基づき、市内の道路や橋りょうを対象に5年に1度の定期的な点検を実施し、それに基づく計画的な維持管理と予算の平準化を図る。
- ・企業や団体等に、市道の清掃や除草を行ってもらう道路アダプトプログラム (里親制度) や、「みんなでつくる地域づくり事業」のメニューの1つである「地域道路愛護支援事業」等を活用し、市民・法人の道路愛護意識の向上を図るとともに、道路維持管理費の縮減に努める。
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策として、安全で快適な自転車利用環境整備のため、官公庁・病院等の生活拠点施設や観光・文化施設等をつなぐ自転車ネットワーク事業を推進する。

(2)国道の整備促進

- ・国道408号鬼怒テクノ通り真岡南バイパスの建設促進。
- ・国道121号京泉工区の整備促進。
- ・国道294号八條工区の整備促進。
- ・国道294号二宮工区 (久下田、石島、寺内) の4車線化の整備促進。

(3)県道の整備促進

- ・主要地方道栃木二宮線長島工区の建設促進。
- ・一般県道西田井二宮線石島工区及び物井工区の整備促進。
- ・一般県道石末真岡線堀内工区及び西郷工区の整備促進。
- ・一般県道西小埜真岡線小林工区の整備促進。

